

# 3・13 行動に250人が参加！

3月13日（木）に尾北民商は、小牧・春日井民商や年金者組合などの市民団体と共に、重税反対全国統一行動小牧地区集会を行いました。

当日は曇り空の小牧駅東口広場に、民商会員や年金者など申告の要求を持つ人たち約250人が集まりました。

決議案の提案は尾北民商の岡田会長が行い、所得税の基礎控除引き上げ、消費税減税、インボイス廃止、電子化推進による納税者の分断と申告納税制の弱体化を許さないなど、私たちの主張を確認し、拍手によってこの案を決議しました。

集会後、駅広場から小牧税務署へは参加者全員でデモ行進を行い、沿道の市民の皆さんに私たちの主張を呼び掛けました。

国税庁・税務署は今年1月1日から提出書類の控えに収受日付印を押していません。納税者は第三者に対しても有効な所得証明と、確かに申告を行った証拠を奪われました。

行政側の都合で一方向的に納税者の権利を削るやり



方を許さないと「収受印押せ！」のカラフルなプラカードを掲げた参加者の皆さんが、シュプレヒコールを上げました。

諸物価の高騰、インボイス登録による申告と納税、県単位化から値上がり続ける国保税など、業者の負担は年を追って、重く厳しくなっています。この日は分納や猶予の申請などの要求がある人も参加し、重税反対全国統一行動の一環として、税務署に納税相談を行いました。

中小業者の営業と生活の権利を守るため、これからも尾北民商は運動の前進に力を尽くします。

あなたの周りにも悩みを抱えた業者、一人親方、フリーランスの人はいませんか。ぜひ一度、民商にご紹介ください。



**尾北民商**  
ニュース

2025年  
3月24日号  
TEL 0587-54-0524  
FAX 0587-54-1390



## 早期発見で早期治療！ 年に1度の健康診断を！

自営業者にとって健康は何よりの宝です。尾北民商共済会は早期発見・早期治療を目指して、毎年4月に集団健診を開催しています。

衝撃的な数字ですが、全商連共済会の行った「初診から死亡までの期間調査」では、亡くなられた方の14.3%が初診から24時間以内、約半数が初診から3カ月以内に死亡していたそうです。私たちの命と健康、自分と家族の幸せを守るためにも、皆さん年1回は健康診断を受けましょう。



なお、共済主催の集団健診で要精密検査の判定となり、再検査を受けた共済会員さんには2000円を補助しています。申し込み希望の方は電話でもFAXでも構いません。尾北民商に連絡ください。

**日時** 4月13日（日）  
**受付** 午前9時から11時（完全予約制）  
**場所** 千秋病院（0586-77-0012）  
**受診料** 民商共済会員 3,000円  
 共済未加入者 8,800円  
**検査項目** 身長・体重測定、血圧測定、尿検査、血液検査、心電図検査、胸部レントゲン検査、便潜血検査